

【海外レポート】

ACSM's 2022 Annual Meeting & World Congresses

～ 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) による移動自粛直後の海外学会参加 ～

芝崎 学

奈良女子大学工学部

はじめに

2022年5月31日から6月4日まで、米国カリフォルニア州サンディエゴで開催された ACSM (American College of Sports Medicine) の年次大会に参加してきました。COVID-19 によって国内外の移動が制限されたため、対面の学会参加には参加していませんでしたが、久しぶりに対面の学会に参加してきました。緩やかになったとはいえ、移動制限下での国際学会参加という貴重な体験をさせてもらいましたので、学会と街の雰囲気だけでなく、渡航記録として紹介させていただきます。この原稿を書いているのは学会から半年経った12月のサッカーW杯開催期間中です。たった半年ですが、海外渡航はずいぶんと変わりましたね。

1. 渡米と帰国

2022年6月12日以降にアメリカ入国はワクチン接種証明のみになりましたが、私が渡米した5月末の時点ではまだ陰性証明も必要でした。

1) 日本出国 2021年11月8日以降にアメリカ入国の際には COVID-19 のワクチン接種が義務化されました。まず準備したのは接種証明書アプリです。渡航前にワクチンは3回接種していたので、すぐにアプリにアップできました。出国前日の朝に、陰性証明書を取得するために大阪府 PCR 検査センターに行きました。夕方には陰性証明書がメールで送られてきました。電子化に戸惑いましたが、全てアプリで登録すると、出国時にスマホで見せるだけでした。スマホ便利ですね。

2) 米国入国 入国時の遅延トラブルを避けるため、飛行機はサンディエゴへの直行便にしました。手続きが機械化されているのもありますが、入国審査官との会話も拍子抜けするほど簡単に済みました。入国時の検査も待機もなく、飛行機を降りて小一時間くらいで街にいました。

3) 帰国 日本に帰国するのが最も大変で、帰国前の陰性証明取得が1つ目のハードルでした。事前に旅行会社のHPや米国の仲間にも調べましたが、どこも車で移動が必要なところばかりでした。しかし、直前にサンディエゴ空港内に簡易検査場を見つけ、帰国前日に受診できました。こちらでもアプリで簡単登録でした(日本指定の書類も登録されていました)。少し前に別の学会に参加された先生は陰性証明取得が大変だったそうです。サンフランシスコ乗換では手荷物検査場が長蛇の列でした。空港デスクで日本の入国後が大変ですと言われ、国内便の変更を勧められました。長蛇の列ではなかったのですが、誘導された移動距離は長かったです。私は手荷物だけでしたので、ギリギリ間に合いましたが、他の人は間に合いませんでした。国内で安心でしたが、外国人には酷ですね。

2. 学会と街の雰囲気

学会は前年度までオンラインのみの開催だったので、最初にワクチン接種と陰性証明書の提示が必要でした。感染対策として会場内もマスク着用が義務付けられていました。とは言っても、仲間に会うと握手はしますし、ハグもしますし、長時間おしゃべりもしていました。ただ、例年と比較して参加者は、特に海外参加者は少数でした。

街中ではマスクをしている人はほとんどいませんでしたが、全体的に人通りは少ないようでした。それよりも驚いたのは物価の高さでした。あと、ウーバー送迎車の多さにびっくりしました。安くスマホ決済なので、安全で便利でした。早く今までのように海外出張したいですね。

<連絡先>

〒630-8506 奈良県奈良市北魚屋西町
奈良女子大学工学部 芝崎 学
TEL: 0742-20-3992 (研究室直通)
Eメール: shiba@cc.nara-wu.ac.jp